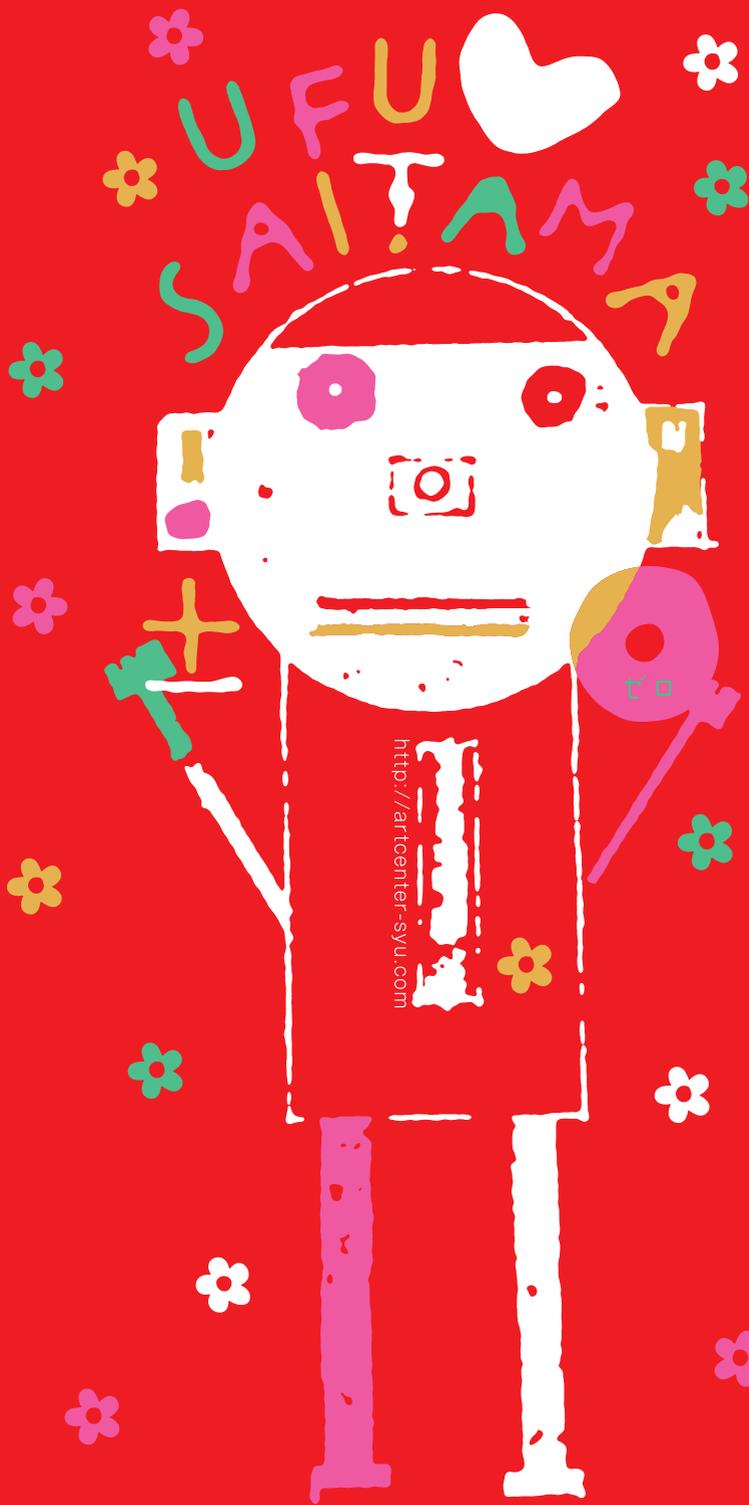


第七回埼玉県障害者アート企画展 作品集



<http://artcenter-syu.com>

Collection 2016

う
ふ
さ
た
ま
プラス
マイナス
展

U F U S A I T I N M A t o 展

第七回埼玉県障害者アート企画展 作品集

Collection 2016

第七回埼玉県障害者アート企画展 概要

展覧会名：「UFU♥SAITAMA±0」展

※「UFU♥SAITAMA±0」とは

「UFU♥」にはキャッチーな語感で、障害者アートをより身近に感じてほしいという意味を込めました。

「±0」は多様なものを受け入れ、原点に立ち返ることを表しています。

会期：2016.12.7 (Wed)～11 (Sun)

会場：埼玉県立近代美術館 一般展示室1

アートディレクター：中津川 浩章 (美術家)

主催：埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±0

社会福祉法人みぬま福祉会

※「埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±0」とは

埼玉県内の障害者アートに取り組む福祉施設・事業所がつくったネットワークです。

「TAMAP」には「埼玉をもっとアップ(向上)していきたい(SAITAMA+UP)」という意味が込められています。

共催：埼玉県

後援：JR東日本大宮支社 (以下50音順)、上尾市、春日部市、川口市、川口市教

育委員会、川越市、行田市、熊谷市、鴻巣市、さいたま市、さいたま市

社会福祉協議会、戸田市、新座市、東松山市、三郷市、吉川市

協力：埼玉県立近代美術館

埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会

con*tio

株式会社ジエイアイシー



「UFU♥SAITAMA±0」展

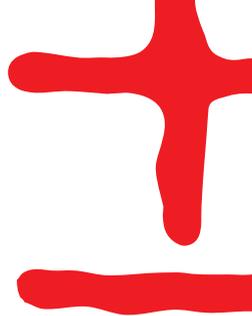
日本の障害者アートはさまざまなプロセスを経て変遷しながら、少しずつ認知され、社会に新しい価値観を生み出してきました。美術教育や知識によらず創造性の源泉からほとぼしる真に自発的な表現、を意味するアール・ブリュット〈生の芸術〉の概念は広く知られるようになりました。アール・ブリュット＝障害者アートではないものの、そこでは障害のある人の作品が数多く取り上げられ世界的な評価を受ける方もいます。

かつて2012年からの3年間、埼玉県障害者アート企画展ディレクターとして県内の各施設を巡り、さらに施設に属さずに自宅で制作している方を訪ねるなどして表現活動調査を行いました。そこで目にすることができた膨大な数の作品はまさに玉石混交。障害者の表現活動が有する幅の広さと深さを思い知らされました。人材育成とネットワークの構築を目指して福祉施設スタッフや学生らを対象にワークショップも行いました。そのかつてのワークショップのメンバーが、この展覧会でスタッフとして参画してくれていることを嬉しく思います。

障害者にとってアートとは？表現とは？福祉とは？そんな問いを包括する今回の展覧会。埼玉県全域からセレクトされた83人のアーティストによる561点の衝撃的な作品が展示されました。新たに発掘された驚くような作家。長年ずっと描き続けている作家の深まり。また時を経て独特な変化を遂げた作家。アートと福祉、それぞれからの目線が交錯し越境し、新しい視野が浮かび上がってきます。スクリブルあり、フィギュアあり、綿密な写実、執拗な点描、行為性を積み重ねたもの。――どの作品も、障害があるのに、ではなく、障害があるからこそその生きるエネルギーに満ちています。実に多種多様でありながら共通して言えることは、それが一人一人の切実な必要性から生まれてきたものだということです。人間が表現することの原点が、ここにありません。

アートディレクター 中津川浩章





障害者アート企画展 2016

第1回障害者アート企画展が2009年に開催され、障害者の自立支援を目指し障害者アートの可能性を追求してきたこの展覧会は、7年目の今年、展覧会の主催者が埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±0、社会福祉法人みぬま福祉会になりました。今まで埼玉県がリードして取り組んできた展覧会作りのワークショップや商品化セミナーなどの講習会がようやく実を結び、本年、民間の団体が厚生労働省の助成を受けて主催する初の取組となったのです。アートを通して障害者の自立支援を目指している障害者アートフェスティバル実行委員会としては、このような動きは誠に喜ばしい出来事です。これから先、行政と民間との協働で障害者アートフェスティバルの更なる可能性を追い求めていきたいと存じます。また、ゆくゆくはこの企画展が、障害があっても地域社会で普通の暮らしを実現するノーマライゼーションの実現につながっていくものと信じております。

さて、第1回障害者アート企画展の時に、「僕は絵を描くようになって人に優しくなった。我慢することができるようになった。」と語ってくれた作者がいました。その言葉はまさに人々がアートによって優しく生活出来るということを証明しているように思っています。それは描く人たちだけではありません。作品を見る人にとっても、作品に表された色彩や形が、作者の声として見る人の感情に語りかけ、優しい気持ちが生まれてくるのです。彼らの作品には一見何を表しているのか分からない作品もありますが、その筆遣いの痕跡や描かれた内容から意味を探り、そして作者の思いを感じ取ることができると、一気に作品の魅力に引き込まれていく不思議な強さを持っているように感じます。それは、表現することと生きることを純粋に重ね合わせ、まさに生きるために表現し、表現することで生きている姿が彼らにあるからなのでしょう。本展覧会はそのようなお互いの“生きる”を感じ合える展覧会だと思います。

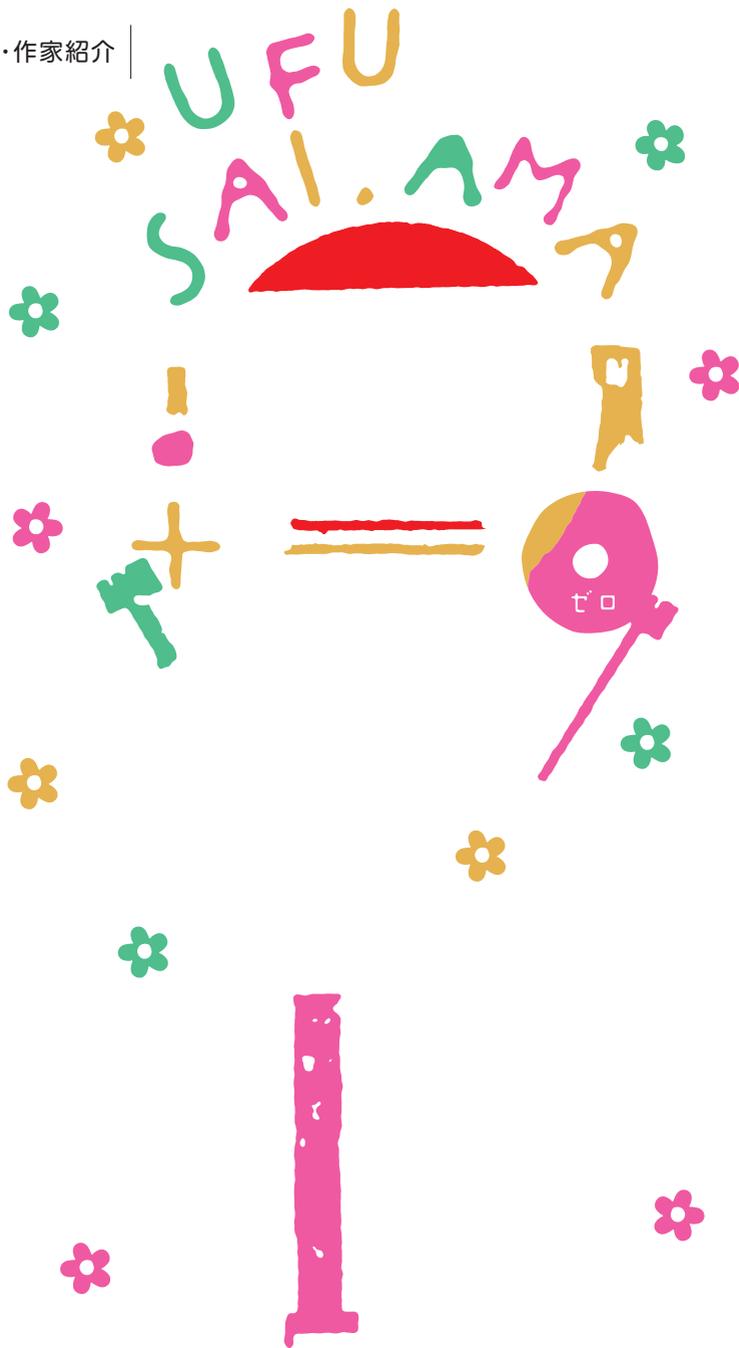
埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会委員長 三澤一実

概要	2
ごあいさつ	3~4
目次	5
会場風景	6~7
作品・作家紹介	8~91
展示協力施設	93
作家一覧（掲載頁索引）	94~95









出展作家1人1作品を紹介しています。各ページの作家紹介は本人または、施設職員、家族などが書いたものです。



阿部 香織

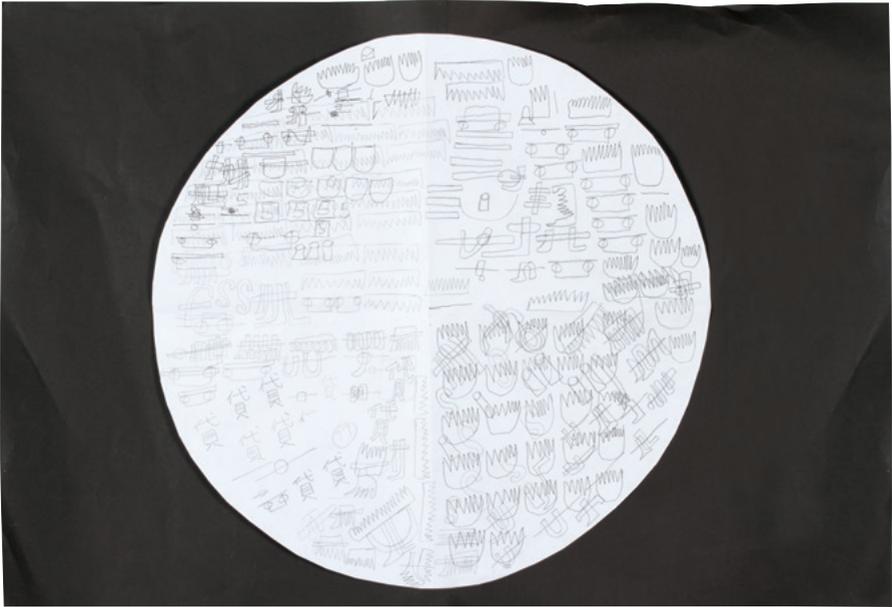
あべかおり

絵を描くこと、歌を歌うことが大好きな香織です。色々な服装を想像しながら1人1人好きな色を選び集中して描いています。別の紙に1人1人描いて、ていねいに切り取って並べます。今回は歌を歌っている様子を描いています。

Title : 合唱

Size[mm] : 580(h)×460(w)

Medium : 画用紙、色鉛筆



新井 貴道

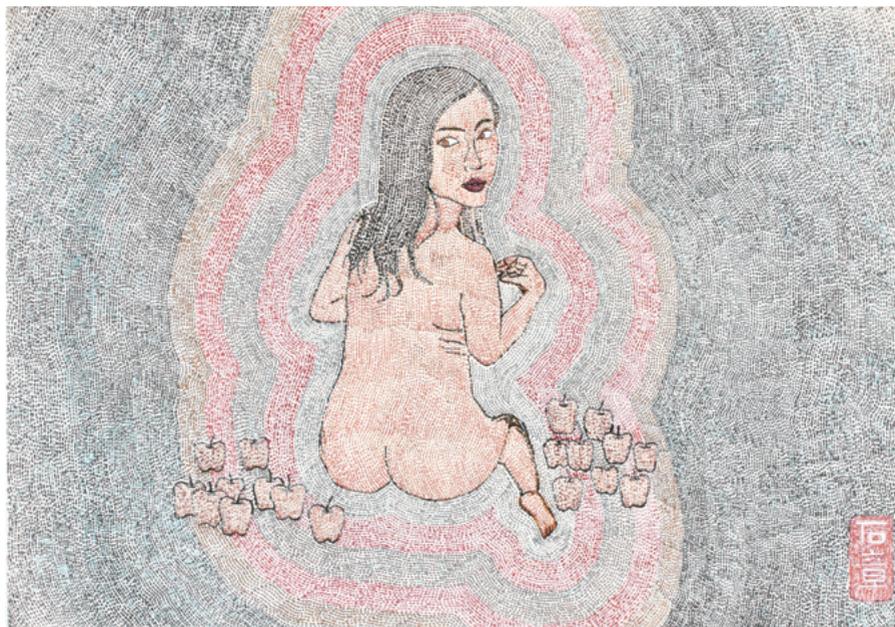
あらいたかみち

バスケットボールも好きだけど、自分を表現するには絵が1番！休憩時間にのんびりと描くのが俺流。紙と鉛筆があれば勝手に手が動き、すいすいす〜いと紙いっぱい広がるバラレワールド！隙間なく埋めつくされれば完成。緻密に考えられた計算式のようなだ。

Title : 月

Size[mm] : 470(h)×480(w)

Medium : カレンダーの裏、鉛筆、ボールペン



石井 章

いしいあきら

6年前から奇跡的に絵を描くようになった石井章は、現在、埼玉県を中心に、アーティスト活動をしています。

3年前にプロデビューし、絵画を中心にミニ絵画、ポストカード、大人の塗絵など創作しています。地元鶴ヶ島では、わかば大学講座（市民講座）で大人の塗り絵講師を務めています。色彩豊かな章独特の感性から、ファッションなど別の部門でも活動します。来年は東京を起点に活動する予定です。

Title：見返り美女

Size[mm]：555(h)×775(w)

Medium：紙、ボスカ



石井 陸渡

いしいりくと

「花火、カラオケ、やったね。」と自分の好きな物をしっかり表現できる石井陸渡さんは、22歳の心優しい青年です。創作の時間になると旅行の写真集をめくって、今、自分が描きたいものを選び出します。石井さんのお気に入りには、「ウィーンの街並み」、お城や教会、公園などです。それらをていねいに描いていきます。見たままを素直に描く彼の絵、その線一本一本があたたかいラインを描き、彼の優しさを表現しているようです。

Title : ぼくが見たウィーンの街

Size[mm] : 375(h)×549(w)

Medium : 紙、ボールペン



今村 明義

いまむらあきよし

今村は道を歩いているときに葉っぱや木の枝を手で折ってきて、そこから得られる感覚を楽しんでいる。毎日のように新しく折ってきた木の枝を歯に当ててカタカタ鳴らしたり、葉っぱを持ってひらひらさせたりしている。(木の枝の場合は、自分の求める形に加工してから使用している。) 今村のこれらの作品は、「画材を使う」という美術の型にはまった表現形式から解放された、プリミティブな感覚を大切にす表現活動の在り方を観客に示してくれる。

Title : 木の枝

Size[mm] : 100~200(h)×5(直径)

Medium : 木の枝



夕月 寛

うづきひろし

製菓事業班でクッキー職人として働く寛さんは、犬が大好き。自宅に何本もリードを所有しています。今回の作品は、そのコレクションを描いたものです。

また、個性的な動物のイラストがまわりから認められ、プリント工房バレットのオリジナルブランド「the Rough」のイラストレーターとしても活躍中！Tシャツやバッグが、併設の「smile café 1/2」や手作り通販サイト「iichi」、北海道のセレクトショップで販売中です。

Title : リール

Size[mm] : 270(h)×380(w)

Medium : 画用紙、マジックペン



梅澤 勝典

うめざわまさのり

絵を描くのは大好き。だけど、手が汚れるのは大嫌い。そんな彼の道具は「手が汚れないもの」。

現在は油性のマジックとビニールテープを使って表現活動をしている。彼の描く、人間カマキリや鉄道などは表情豊かで可愛い梅澤ワールドだ。「よ～しやるぞー!」と楽しそうに油性マジックを動かす。シュ～とビニールテープを伸ばし、ハサミで綺麗に切る。その一連のリズムが心地よい。身体も一緒に動かして切る姿からは嬉しさが溢れているようである。

Title : 人間カマキリロケット

Size[mm] : 542(h)×382(w)

Medium : 紙、ビニールテープ



EMI

えみ

EMIさんはいろいろな絵を描きます。細かいカラフルなブロックが紙面を覆っているステンドグラスのようなものや、可愛らしい表情の動物を描いたもの、詩や文章とともに描かれるもの、抽象的で現代アートのようなもの。いろいろな色や形で表される彼女の作品たちからは、感受性豊かで、日々の出来事にも人一倍敏感に反応する、彼女の彩り豊かな感覚が反映されているように見えます。EMIさんの作品はアートアクセサリーとしても人気があります。

Title : 夢のおもちゃ箱

Size(mm) : 1090(h)×790(w)

Medium : 画用紙、マーカー

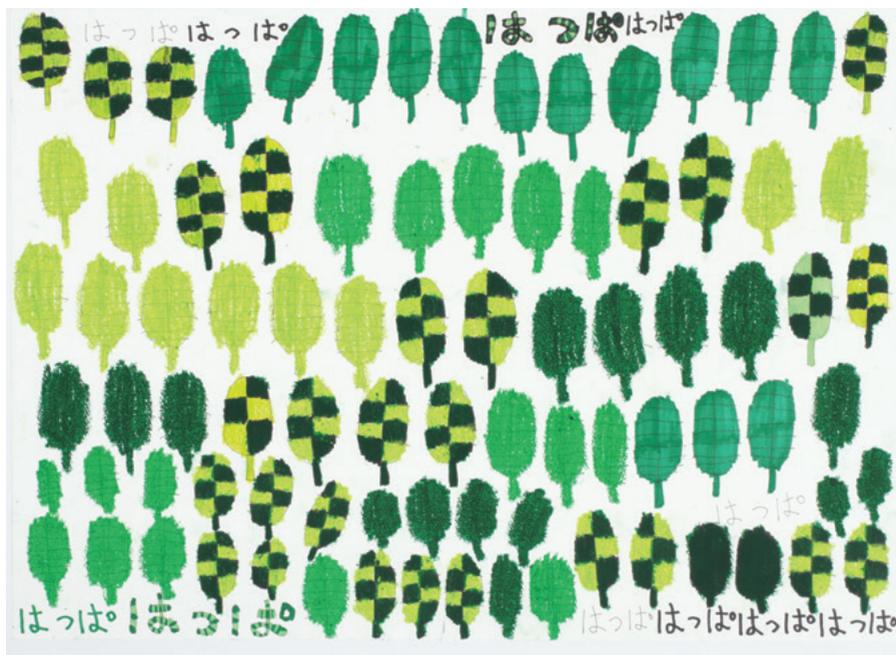


大串 憲嗣

おおぐしけんじ

「誰と話してるの?」と聞きたくなるほど、彼は独り言を言いながら、今日も創作している。「仕事するとのど渇くね〜。」…いやいや、喋りっぱなしだからだよ。でも、力強くボリュームのある作品が誕生する。季節に合わせた題材を描き、頭の中ではいろいろなことで悩みがっぱいな彼。それは世界の問題にまで発展している。何色ものクレパスを何重にもして、その奥底には彼の人生観が塗り積まれている。

Title : チョコレートソフトクリーム
Size[mm] : 360(h)×258(w)
Medium : ペニヤ板、クレヨン



大倉 史子

おおくらふみこ

気に入っているモチーフを画用紙いっばいに描き並べる大倉さん。描きたいものを、描きたい時に、描きたい場所で、描きただけ描く。そのスタンスは10年以上ずっと変わらない。手にはいつも好きな人の顔写真が貼られたコラージュを肌身離さず持っていて、洋服には自分で絵を描いたり、刺繍をしたり…。表現することの意欲もまた、ずっと変わらない。今年の夏頃からはまっているモチーフは「葉っぱ」。緑だけだった葉っぱが、日に日にカラフルになっていく。大倉さんの作品にはかわいさとユーモアが満載。

Title : はっぱ

Size[mm] : 382(h)×542(w)

Medium : 紙、クレヨン、ペン



尾ヶ井 保秋

おがいやすあき

何色にしようか、どんなふう塗ろうかキャンパスの前で考えている時にワクワクし、絵を描いていると気持ちが盛り上がると言っています。緊張が強くて思い通りに手が動かないが手の甲や筆で自分の伝えられない想いをキャンパスにこめるように描き、イメージしたとおりに描けると体全体で喜んでます。一つの作品に、週に一時間のペースで5か月くらいかけて完成させています。来年、個展を行なおうと制作により力を入れています。

Title : 陽のあたる野原

Size[mm] : 460(h)×380(w)

Medium : キャンバス、アクリル



荻原 徹

おぎわらとおる

今までは教科書のように描けなくて、絵を描くことが嫌いでした。強い筆圧で描いて鉛筆を折ってしまうことをよくないと思っていました。そんな荻原さんが、創作活動の中で、自分の見えたまま、思ったままに描いた絵をほめられるのがうれしくて、たくさん描くようになりました。鉛筆が折れるほどの強い筆圧も自分らしさなんだと思えるようになり、色鉛筆だけで何度も塗り重ねてピカピカの絵を描くことに自信を持てるようになりました。

Title : ロッソ・フィレンティーノ モーゼとエテロの娘たち

Size[mm] : 365(h)×255(w)

Medium : 紙、色鉛筆



Over

おーばー

仲間たちが織った反物から、糸の切れ端がたくさん、集まりました。思うまま、無心に、いっぱい、そして、いっぱい。繋いでは巻き、繋いでは巻き、果てなく、くるくると巻きつける。…不思議な想い、伝わってきましたか？

Title : 無題

Size[mm] : 740(h)×350(w)×250(d)

Medium : トルソー、糸



小幡 海知生

おばたまちお

大きな画用紙に挑戦して10年になります。モチーフは、紙一面に顔、顔、顔の曼陀羅や万華鏡、花火、ごこ三、四年は夢の中の魚群。今は魚からちょっと離れ何を描こうか思索中。机に向かうと一気に描きはじめ音楽を聴きながら細筆で隅々までしっかり色をいれ、夢中で四、五枚描いてしまいます。大好きな巨人戦のテレビも気付かないので、親が「いま巨人がホームラン打ったよ」などと声をかけてやったりします。絵に出会えて本当によかった！皆に楽しんでみてほしいです。

Title : 仲良し家族 I

Size[mm] : 728(h)×515(w)

Medium : 紙、顔彩



風間 博

かざまひろし

絵は深いものでとても難しいけど、とても面白く、自分にしか出せない色をこれからも探していきたいとの事。風間さんは心の優しい方でいつもニコニコとし、スタッフと楽しく話などしています。制作時は足に筆をはさむための補助具をつけて、ゆっくりと足を動かしながら描いています。色の事になると、ちょっとした違いでもこだわりをもって納得がいくまで1枚の絵に取り組んでいます。

Title : 滝のある風景

Size[mm] : 380(h)×455(w)

Medium : キャンバス、アクリル



加藤 朋大

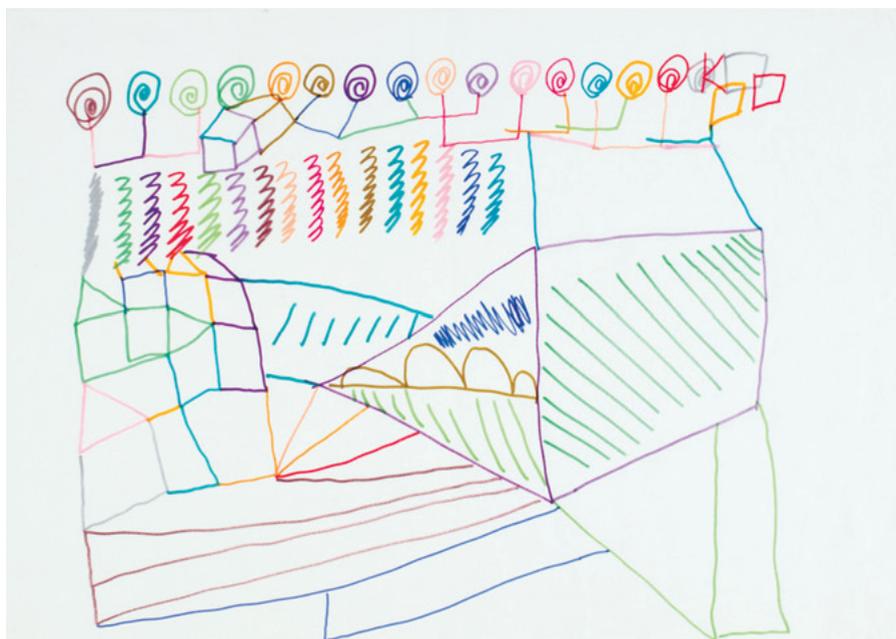
かとうともひろ

明るい笑顔で人懐っこい加藤くん。常にいろいろな事に興味を持っていて、そんな様子が作品に出ていると思います。

Title : 電車

Size[mm] : 300(h)×230(w)×230(d)

Medium : ストロー、ひも、紙、段ボール



金谷 ゆり

かなやゆり

描きたいときに描く。色選びは即決で原色が好き。割り箸を使って持ち手を長くした筆を用いたり、指サックタイプの筆を親指にはめると準備OK、器用に腕を上下に動かして、自分の動かすことの出来る範囲いっぱい使って、自分の思いのままに描いていく。

Title : Untitled

Size[mm] : 180(h)×260(w)

Medium : 紙、ペン



川田 修

かわたおさむ

彼の作品には、設計図はありません。頭の中に完成図があり、数年かけて、ようやく1台の完成に至ります。この1年は、体調が思わしくなく、事業所にも通えない日々が続きました。少し自暴自棄になった時期もあり、トラックの作成に必要な材料なども、一度捨ててしまったこともあります。

現在では、体調も戻り、毎日、通所と通院をしながら、作業を頑張っております。トラックの作成も、時間を見つけ、徐々に始めているようです。とても男っぽい作品ではありますが、ご本人は、とても優しく、人に気遣いのできる方であり、作品を見ていただけると感じるとおり、とてもがんばり屋でもあります。自分の作品を、たくさんの人に見ていただきたいと、今回出品いたしました。是非細部までご覧下さい。

Title : 初代修羅丸 Size[mm] : 300(h)×150(w)×300(d)×2 Medium : ポール紙、その他紙類



神田 泰宏

かんだやすひろ

週末には毎週のように図書館へ出かける泰宏さん。そこで、働く車や電車の本、さまざまな図鑑などを見るのが大好きです。そんな本好きの泰宏さんの絵は独特で、彼の目（フィルター）を通すといろいろなものがとても味わい深いものになります。丸みや色使いに彼の優しさがにじみ出ているようです。

Title : 銀閣寺 上

Size[mm] : 270(h)×380(w)

Medium : 画用紙、クーピー



熊倉 美優

くまくらみゆ

年齢：11月に二十歳になりました。青春真っ盛りです。

性格：がんばりやで負けず嫌い。好奇心旺盛で何事も積極的に取り組みます。

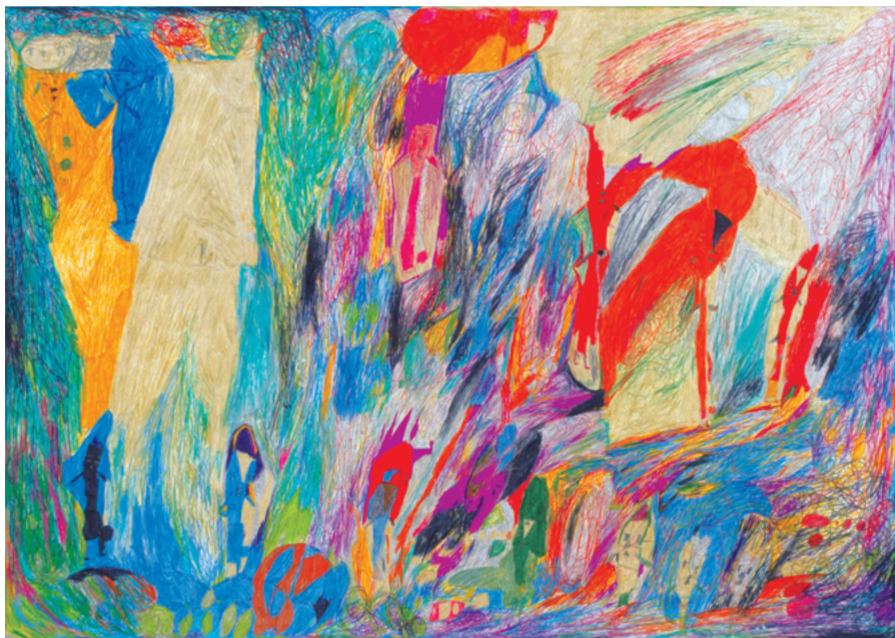
趣味：音楽が大好きです。

アートについて一言：「まだ始めたばかりですが、持ち前のチャレンジ精神を発揮して、いろいろな作品に挑戦したいです。」

Title：花

Size[mm]：380(h)×540(w)

Medium：画用紙、チラシ、ポスターカラー、クレヨン



栗原 和秀

くりはらかずひで

カラフルな木のパーツを昆虫採集の標本のように自由に貼り付けていく。そして、動物や乗り物の絵を描いたものや、小さな木のチップにアルファベットや数字など呪文のように書き加えた作品へと変化していった。今は、絵画にハマって、大好きな電車、バスなどの乗り物シリーズを描いている。はじめに車体を大きく四角で描き、次に左右にぐるぐると描きこんでいく。もちろん文字も沢山書かれている。そして必ず右隅に自宅で飼っている犬3匹を描く。なんとも不思議な世界がそこに描かれている。

Title : 日本代表サッカー選手
Size[mm] : 380(h)×540(w)
Medium : 紙、ボールペン



黒川 文子

くろかわふみこ

長い間、ひきこもりをしていましたが、絵を描き始めてから、少しずつ外に出るようになっていきます。

最近、コーラス部に入りました。いっしょに歌うと、みんなと気持ちがひとつになると感じます。そして、絵を描くときにも、コーラスで歌っているときのようにみんなと気持ちがひとつになることをイメージして描きました。

世界中のみんなといっしょに、いのちを愛するしあわせを感じていることをイメージしながら、絵を描きたいな…と思います。

Title : Everybody Sunshine

Size[mm] : 670(h)×630(w)

Medium : フェルト



後藤 友康

ことうともやす

レコード盤からCDへ、そして段ボールの切れ端からベニヤ板（本人曰く「しかく」）へと変遷してきた画材。はじめは、一人で「棒が一本あったとさ、葉っぱかな？…」と絵描き歌を口ずさみながら、時には職員と一緒に歌いながら、「描く」という行為がコミュニケーションツールの一つとなっていきました。そして、「しかく」にはその時々の後藤さんと周りの仲間が表現されています。幼い頃から描き続けている絵描き歌。それは教えてもらったときの、コミュニケーション体験の記憶なのかもしれません。

Title : 後藤板

Size[mm] : 100(h)×75(w)×6

Medium : 板、クレヨン、ペン



小林 カオル

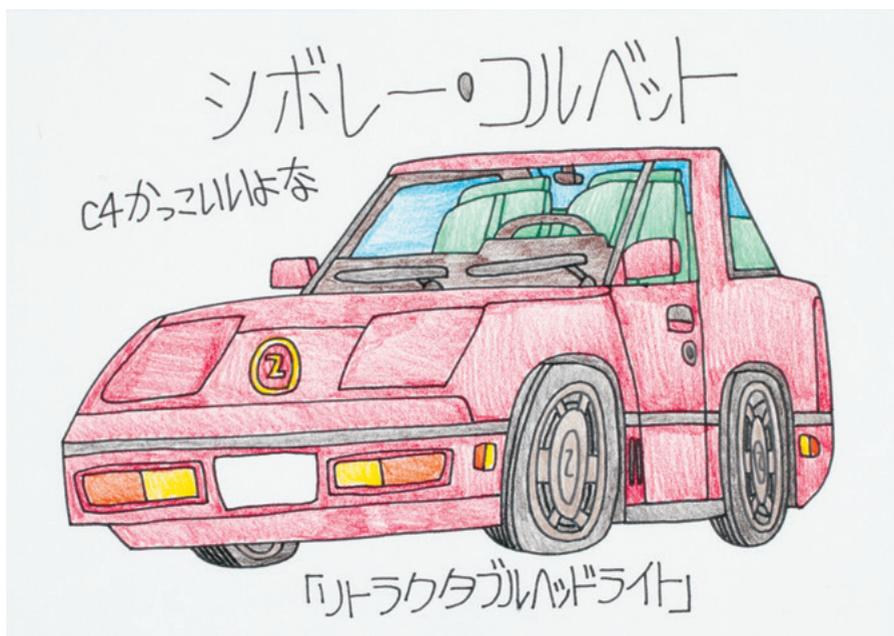
こぼやしかおる

毎日お昼ごはんの後に楽しく描いています。作品も何百枚と段ボールに入っています。広告用紙の裏を塗りつぶし、その上から絵を描きます。モチーフになるのは昔のCMや広告などが多いのですが、そのセレクトがいちいち絶妙です。とてもかわいらしいとともに味わい深い作品です。

Title : カオルの絵

Size[mm] : 594(h)×420(w)×2

Medium : 広告用紙、ポスターカラー



小林 春介

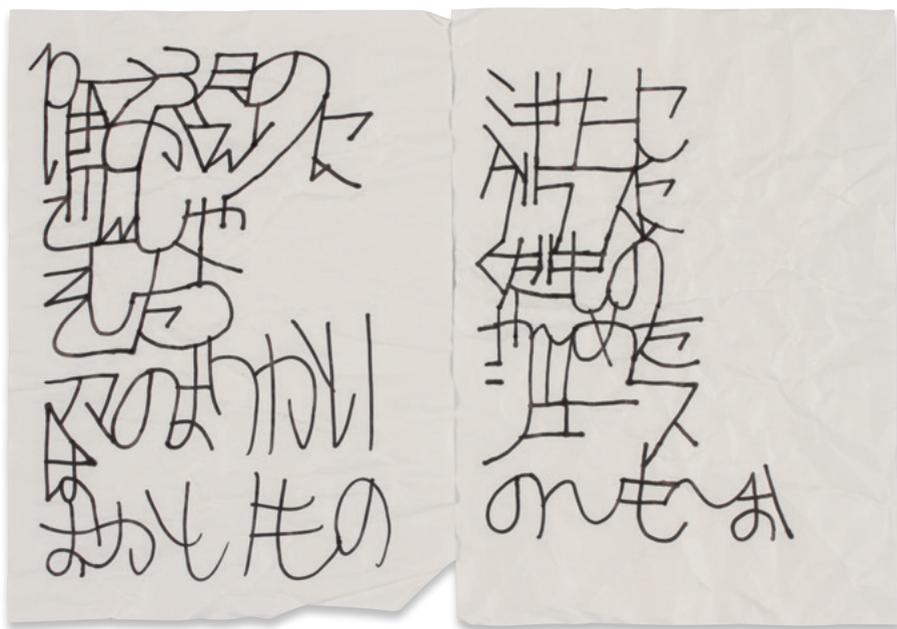
こぼやししゅんすけ

「smile café 1/2」のイケメンウェイターとして評判の春介さんは、車が大好き。仕事の合間や帰宅後に次から次へとイラストを描き上げています。細部まで描きこんだ車のイラストは、カーマニアをもうならせるほど！現在、プリント工房パレットのオリジナルブランド『shunsuke since2015』のイラストレーターとしても活躍中です。ブランドTシャツやバッグは、男性ばかりではなく、女性にも大人気！コロンとしたフォルムがカワイイと評判です！

Title : my favorite car ~カラーバージョン~

Size[mm] : 148(h)×210(w)

Medium : 紙、ペン、色鉛筆



小林ちゃん

こばやしちゃん

自由気ままなようできて、何気に、まわりにもアンテナをはりめぐらす。時には、ファッションリーダーとなり、服装のチェック。また、ある時はチアリーダーとなり、激しい踊りをおひろめ。(…でも、なかなか、ダイエットに繋がりません) ほんわりさが溢れる小林ちゃんですが、手織りの作業は、しっかりきっちり、集中モード。いつもサプライズがいっぱい。小林ちゃんは、みんなのアイドルです。

Title : 無題

Size[mm] : 208(h)×145(w)×2

Medium : 紙、サインペン



齋藤 進

さいとうすすむ

「天使は煙突から入りこんで、暖炉から部屋の中へやってくる…」明るくて、可愛らしくて、面白くて、楽しい世界。これまでの68年間、齋藤さんの人生がそんな夢のような出来事の連続だったとは限らない。だけれども齋藤さんは言うのだ。「例えていうなら世の中はディズニー。お姫様がいる世界に、天使がいたっておかしくはないでしょう。」

Title : 「11人いた!」

Size[mm] : 210(h)×297(w)

Medium : 紙、色鉛筆



斉藤 勇真

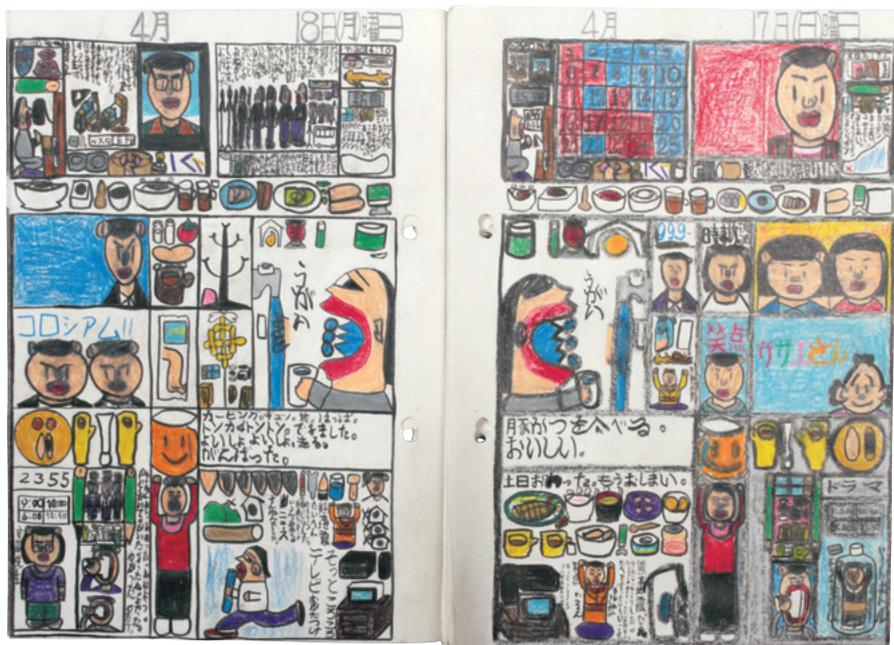
さいとうゆうま

自宅の一室で4歳頃から、20年以上続けている「儀式」。その内容は、ボックスティッシュから取り出したペーパーをこねて、糸くずのような造形物を作るというもの。この「儀式」は斉藤の日々の生活において1日も欠かすことのできないものであり、作品の一片一片が斉藤の「生」と切り離すことのできない表現活動の産物である。こうして生まれた作品は、世間の絵画教室やアトリエ活動で生み出される作品とは一味もふた味も違う造形物である。

Title : ティッシュペーパー

Size[mm] : 50(h)×100(w)×100(d)

Medium : ティッシュペーパー



佐々木 慎一

ささきしんいち

慎一さんのアトリエは自宅の自室。レーザーカービングの作業を終え、帰宅後の余暇時間の全てを使い、毎日の生活の場面を細かく切り取って「日記」と「絵日記」を描いています。睡眠時間を削ってでも「描かねばならぬ。」まさに渾身の一枚。鉛筆と色鉛筆で力強くもやわらかく刻み込んでいます。その文体や構図には、さりげない遊び心と言葉にはできないたくさんの気持ちが込められています。

Title : 日記

Size[mm] : 210(h)×297(w)

Medium : 紙、鉛筆、色鉛筆



佐々木 孝志

ささきたかし

全て色鉛筆を使って色彩豊かに描いています。題材を見ながら描くことが多いですが、ヒーロー・戦隊ものは題材を見ずに自由に描きます。作品は○と△と□を組み合わせる独特で不思議な、どこかあたたかみを感じさせるような画風です。静かな環境で絵に目を近づけて緻密に色を組み合わせ作品を仕上げていきます。いつも穏やかで優しく少しシャイな孝志さん、人に絵を見られるのは照れるけど、見てもらえるとうごく嬉しいそうです。

Title : スーパー仮面ライダー
Size[mm] : 392(h)×270(w)
Medium : 画用紙、色鉛筆



佐藤 こはる

さとうこはる

普段、作業所でピザやクッキー作りなど熱心におこなっています。穏やかな性格でユーモアがあり皆を笑わせてくれます。カラオケが好きで9時間行くことも。主に自宅で、毎日、コピー用紙にマジックを使って『さらさら』と絵を描いています。いつも大好きなビデオ（ドラえもん、ディズニー、ジョーズ、ジュラシックパーク）などを見ながら描いています。1日で20枚から30枚くらい描きます。休みの日はもっと描くこともあります。ひたすら折紙で鳥を折ることもあります。ちゃぶ台の周りには、紙やペン、ノートや動物図鑑、折紙などが、すぐに制作活動ができるように置いてありました。

Title : ハウド

Size[mm] : 390(h)×550(w)

Medium : 画用紙、ボスカ



さとちゃん

さとちゃん

いつも明るく元気なさとちゃん。人と話をするのが大好きです。そんな小柄で可愛いさとちゃんの作品はダイナミックでありながら、繊細さを持ち合わせています。

Title : 電車

Size[mm] : 800(h)×1200(w)×500(d)

Medium : 布



椎橋 豊

しいばしゆたか

みんなの会話や雰囲気を感じながら、満足感たっぷりの表情で、筆をはしらせる豊さん。題材は、大好きな仲間や、仲間とのエピソード、流行っているものなど幅広いです。豊さんの作品には、お茶目さ、やさしさ、繊細さ、その中にもしっかりと自己主張が描かれています。彼の作品は見ている人を幸せな気持ちにさせてくれます。

Title : 無題

Size[mm] : 380(h)×540(w)

Medium : 画用紙、ボールペン



柴 可南子

しばかなこ

柴は、いつもたくさんの「お気に入りの品々」を持ち歩いている。そして、施設内で「良い感じの場所」を見つけると、そこに腰を下ろし、「お気に入りの品々」を露天商のように床に広げる。ハンカチ、コップ、写真、あらかじめ遊園のパンフレット、東松山の埼玉県子ども動物自然公園のパンフレットetc…に混じって、柴がドローイングしたビニール袋や紙袋もそこにある。今回展示している作品は、ひとつひとつが柴の「お気に入りの品々」である。

Title : ビニール袋

Size[mm] : 380(h)×240(w)

Medium : ビニール袋、ペン



柴田 和

しばたやまと

ヒーローが好きだ。ヒーローのモチーフに手を加えて、自分仕様に作り変えるのはもっと好きだ。お面は被ったときの視界がクリアでなければならないし、フィギュアに装着したアクリル粘土の武器は、ちゃんと取り外しのできる可動式でなくては満足できない。色付けだって、目の届きにくい背面にも、きちんと施されているべきなのだ。そうして好きなものに真摯に向き合いながら、17歳の今、自分のこだわりを効かせた表現が生み出されていく。

Title : お面1号

Size[mm] : 300(h)×200(w)×180(d)

Medium : 新聞紙、アクリル樹脂塗料

東武東上線



嶋田 怜真

しまだりょうま

とにかく電車が大好き！乗るのも見るのも大好きな怜真です。一番身近な東武東上線は大のお気に入りです。駅名も全て覚えてしまうほど…迷いなくサインペンで一気に描き上げ、色はきっちり塗るのが得意です。写真や実物を見て、怜真が独特の世界観で描くので、それを見るのが親の楽しみのひとつでもあります。作業所の脇を走る電車の音を聞きながら、毎日一生懸命頑張っています。

Title：東武東上線

Size[mm]：271(h)×382(w)

Medium：画用紙、色鉛筆、サインペン



シュウシュウ

しゅうしゅう

シュウシュウさんは、「ありがとう」のキャッチボールの名人です。職員が「作業開始です。」と伝えれば「ありがとう。教えてくれて。」職員も「どういたしまして、こちらこそ、ありがとう。」といった具合で毎日30回以上は繰り返します。そんな彼が作り出す作品は、本人同様とてもやさしく、温かいものです。「できあがったら遠くの誰かに見せたい！」それが本人の願いであり、そんな想いをもって作品を作っています。

Title : 1・2・3・4・5

Size[mm] : 1200(h)×30(w)×30(d)中央

Medium : 紙



杉山 良介

すぎやまりょうすけ

日常のどんなことにも楽しみを見つけ、誰かに楽しませてもらうのではなく、自分で楽しめる人、それが杉山さんです。杉山さんはいつも大きい声で笑っています。何がおもしろいかが大切なのではなく、笑うことが大切だとみんなに伝えてくれているようです。絵具やマジックペンで色を重ねていく中で起こる「色の変化」、「色の混ざっていく様子」が大好きで、大きな瞳をさらに大きくして自分の画用紙を一心不乱に見つめながら制作しています。

Title : 無題

Size[mm] : 454(h)×544(w)

Medium : 紙、絵具



すずき しょうた

すずきしょうた

楽しい事と動物が大好きなしょうたさん。現在のマイブームは、色とりどりのマスキングテープを使っての創作活動。アートの世界が広がっていきます。その活動の合間に、ふとペンを持つと、カラフルな絵を迷う事なく一気に描きあげます。その絵の中に登場するのは、しょうたさんオリジナルのキャラクター達。カラフルでユーモラスなそのキャラクター達は、見る人を不思議な世界へ誘います。さあ、みなさん！楽しいしょうたさんワールドへようこそ。

Title : あか

Size[mm] : 450(h)×300(w)

Medium : 紙、油性ペン



須田 法子

すだのりこ

ほんわりとしたやさしい雰囲気の中にも、こまやかな心を持っているのりちゃん。でも、絵を描くときの彼女はとってもダイナミック。好きな色のペンをもち、好きな場所に線を描いていきます。線を描き終えると画用紙を折り、また新たな場所に線を描きます。画用紙のなかには彼女の世界がひろがります。

Title : 無題

Size[mm] : 210(h)×295(w)

Medium : 厚紙、クレヨン



関口 広史

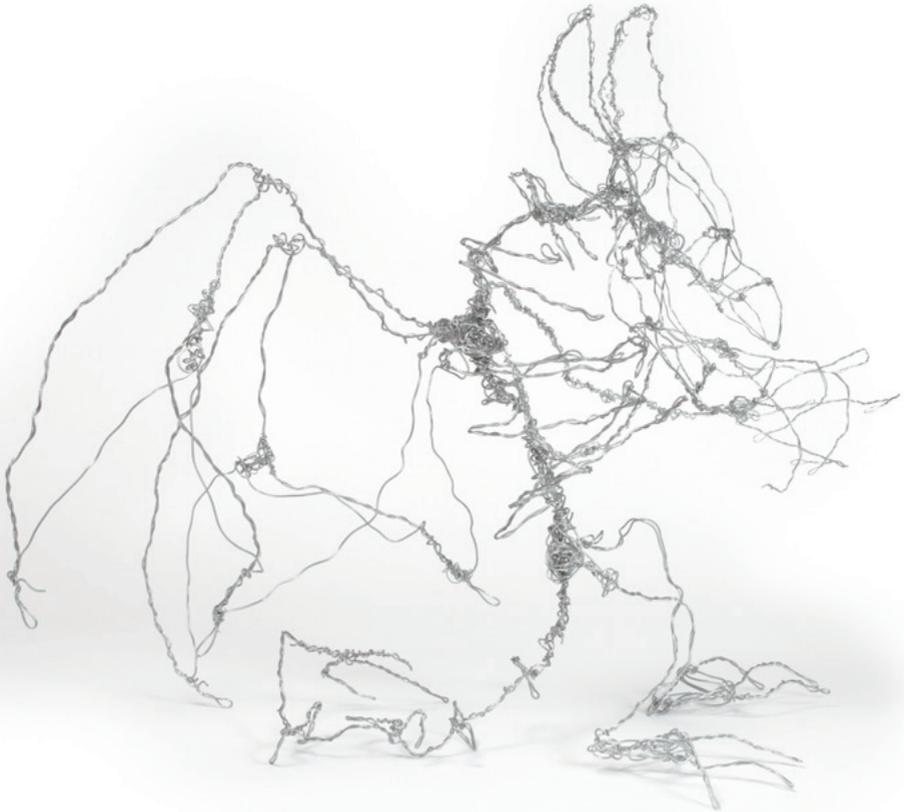
せきぐちひろし

ちょっとヤンチャだった頃の仲間や、愛車のバイクは広史さんにとって消えることのない大切な思い出。大切だから、広史さんは、バイクや仲間を描き続けます。いつも穏やかな彼は、会話の楽しさからみんなの笑顔の中心にいます。絵の他にも陶芸で、可愛い動物などのモチーフのマグカップを作ります。それは賞を頂く程の腕前。可愛く仕上がった作品を手に今日も『これ、かわい〜!』と、笑顔の広史さんです。

Title : 無題

Size[mm] : 380(h)×540(w)

Medium : 画用紙、ポスカ



曾我部 竜弥

そがべりゅうや

作家は、優しい穏やかな性格で静かな環境を好み、一人で絵を描いたり、物を創作したりすることが大好きです。恐竜や昆虫、ドラゴンのカードゲームに興味関心が高く、楽しそうに周囲に話してくれます。創作は、2日間で仕上げました。すべて手作業で、大好きな『ドラゴン』をイメージしています。先端や細かな針金の折り曲げはペンチを使用して作りました。

Title : ガリュウ

Size[mm] : 575(h)×600(w)×820(d)

Medium : 針金



高橋 創

たかはしはじめ

創さんの作品は、クレヨンを選ぶところから始まる。一本一本手に取り、じっくりその時の気分に合わせて選んでいく。一本のクレヨンを選ぶとぐるぐると円を描き、“ぐるぐる”をひとつ描き終わると、また、クレヨンを選ぶ。その工程を何度も何度も繰り返して、作品を完成させる。創さんが絵を描く時は、一本一本力を込めて描いている。だから、力強い絵に仕上がっていく。お母さんはその絵を「創の字」だと言う。創さんの絵の中にこめられたメッセージを感じとってみてほしい。

Title : Untitled

Size[mm] : 382(h)×542(w)

Medium : 紙、クレヨン



高橋 裕子

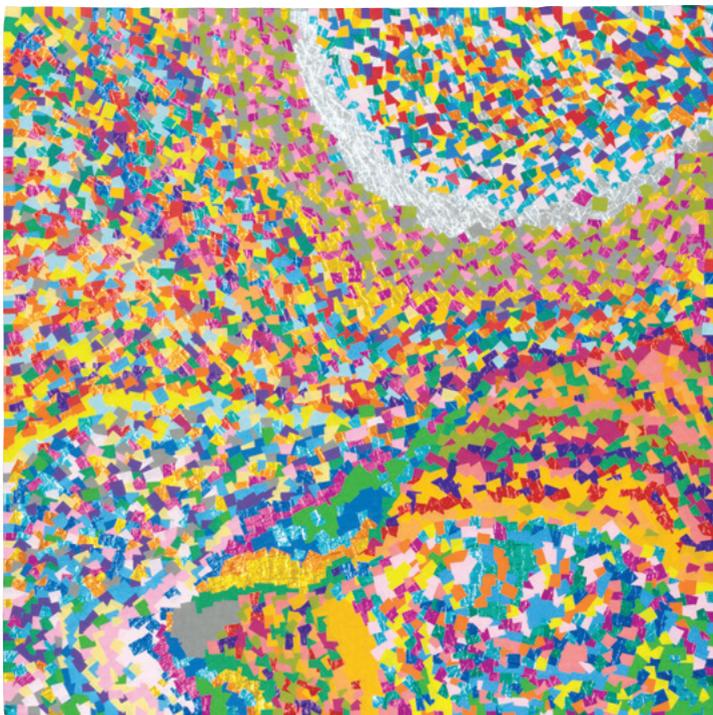
たかはしゆうこ

いろいろなことに興味を持っている高橋さんですが、特に絵を描くことが大好きで、活動や余暇の時間に夢中になって絵を描いています。いろいろな色を選んで、思いのままに色を重ねていきます。絵を描いているときの高橋さんの表情は、真剣な目をしていて、とても素敵です。毎回、どんな作品を描いてくれるのか楽しみです。高橋さんの作品は、手帳の表紙やタンブラーの柄などに活用し商品にして販売しています。

Title : 無題

Size[mm] : 380(h)×540(w)

Medium : 画用紙、色鉛筆、クーピー



高谷 こずえ

たかやこずえ

よくしゃべる…よく笑う…でも常に手が動いている。小さく切った折紙を、丁寧に1枚ずつ貼り合わせる。平面でも、立体でも彼女にかかったらあつという間に、キラキラとして存在感のある作品へと姿を変える。つらいことや悲しいことがあった時の作品ほどカラフルで実に繊細なバランスの作品となるのだから、彼女の魅力は底知れない。

Title : 長野行ってきま～す

Size[mm] : 900(h)×900(w)

Medium : ダンボール、折紙



武石 トシ子

たけいしとしこ

人生74年。表現活動を通して、数多くの織りや絵画を創りだしてきた。そして今は、自分の好きな有名人を描き、フェルトを貼り付け、ボリュームのある作品に取り組んでいる。どこか似ていて、思わず吹き出してしまうような昭和チックな愛くるしさのある作品。「今度この歌手を描くよ。」と雑誌の記事を持ってきたり、職員と一緒に画像を選ぶ表情はきらきらしていて、充実しているとわかる。

Title : 武石シリーズ

Size[mm] : 382(h)×542(w)×4

Medium : 紙、フェルト、ボールペン



田中 貴之

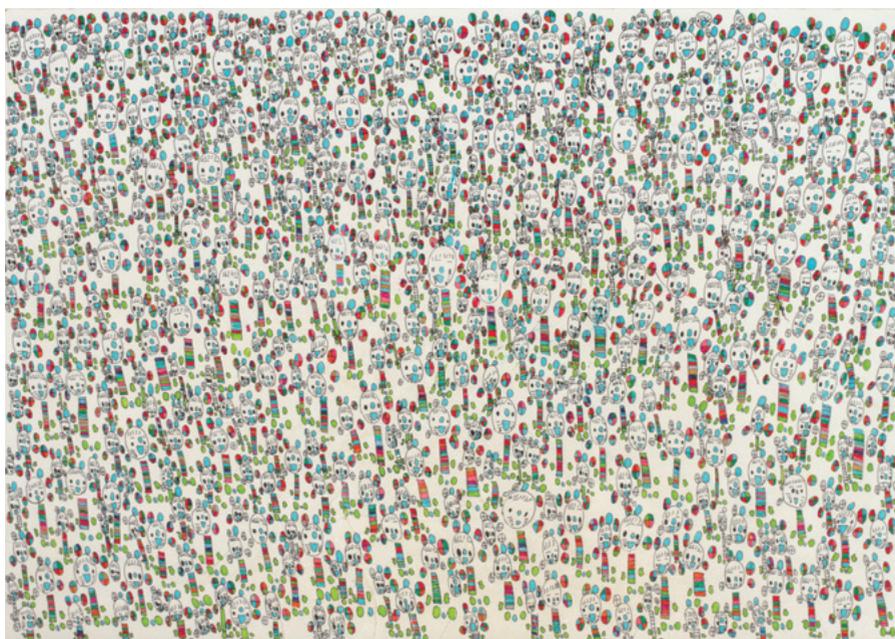
たなかたかゆき

田中はときどき、溢れるようなエネルギーをもてあましていることがある。そんなときの田中は、室内を楽しそうに跳ね回ったり、満面の笑みで人や物に力強く激しくタッチをする。そのタッチは「打撃」と呼んでも過言ではないくらいエネルギーが強いのだが、そのような状態のときに石塑粘土（とても堅い!）を渡されると、田中はそのエネルギー全てを石塑粘土にぶつける。粘土は細かくちぎられ、田中の掌の中でじゃらじゃらと遊ばれて少し丸みをおびている。

Title : ねんど

Size[mm] : 30(h)×200(w)×200(d)

Medium : 石塑粘土



田中 悠紀

たなかゆき

お話をするのが大好きな悠紀さん。毎日楽しそうにテレビの話・仕事の話・ホームの話をしてくれます。そんな悠紀さんの作品は、住んでいるグループホームで飼っていた犬の茶太郎。茶太郎が亡くなった後も、「茶太郎、幸せそうに笑ってる。」と言いながら毎日描き続けています。笑顔の茶太郎を見ていると、悠紀さんが幸せに暮らしているのが伝わってきて、なんだかこちらまで幸せな気持ちになれます。

Title : 茶太郎

Size[mm] : 382(h)×542(w)

Medium : 紙、ペン



都築 敬昌

つぎひろまさ

とにかく絵を描くことが大好き!“とっても楽しい!”と言わんばかりの笑顔で…しかも、ものすごいスピードで“どンドン”と紙に描き出していきます。次々とクレヨンの色を選び、紙からはみ出すほどの勢いある部分と余白スペースが自然とレイアウトされて、とても明るい作品が出来上がります。また、似顔絵を描くときは、真剣な表情に変わり、相手の顔をじっと見て雰囲気をとらえます。描き上がると「できた!」と、とびっきりの笑顔をプレゼントしてくれます。

Title : いもの子のなかま

Size[mm] : A4×4

Medium : 紙、ペン、クレヨン



鳥羽 直弥

とばなおや

紙工作が大好きな鳥羽さんの作品は、ハサミ・テープ・ペンを使い、一筆書きのように一気に作り上げます。折紙を折って、ハサミでチョキチョキ…。あつという間に線で描いたような星型が切り抜かれるなど、技を織り込んでいます。ウルトラマンや藤子不二雄のアニメ作品が好きで、登場するキャラクターの主役だけでなく、脇役も必ず作り、工作を通じて、原作を楽しんでいます。

Title : ウルトラマンと怪獣

Size[mm] : 150(h)×100(w)×100(d)下段右

Medium : テープ、ビニールテープ、折紙



内藤 みひ

ないとうみひ

とても気さくで、明るい人柄です。周りの人々を自然と笑顔にしてみよう、みひさんです。好きな物・嫌いな物がはっきりしていて、絵を描く事、音楽を聴くことが大好きです。絵を描く時は、自分の描いている物を指さしながら、笑顔で熱心に取り組んでいます。ご本人にとって、絵を描くことは自分を表現する大切な事。ご家族のことや音楽、楽しいことを描いているようです。ぐるぐると色を重ね、人物を描きながら、素敵な時間を過ごしています。

Title : 無題

Size[mm] : 380(h)×540(w)

Medium : 画用紙、クーピー



なお丸

なおまる

子供のころから粘土でフィギュアを作り続けています。2012年の埼玉県障害者アート企画展に初めて出品させていただいたところ、日本風のキャラが面白いと評価されました。最近に至り、僕が作り出すキャラクターを「千変万化」と評価していただく機会もあり、ますます作品作りに励んでいます。将来の夢は「千変万化」のキャラクターのアニメ化です。

Title : 緑の領域

Size[mm] : 520(h)×550(w)×490(d)

Medium : 樹脂粘土



永井 健雄

ながいたけお

永井さんは大好きな乗り物を発想豊かにユニークに描きます。今回は大好きな電車の「特別仕様特急」、猫の運転手で車が線路を走る「VOXY鉄道仕様」、飛行機がトラックの荷台のように飛び出す「ジャンボジェット トラック仕様」、地元の「西武線」、そしてこの美しい猫の美女達がコンサートのためにロールスロイスから降立つ場面の「ソプラノ歌手」。繊細にフリーハンドで描く様子にいつも感心します。何よりも永井さんが楽しんで描いている姿に心も温かくなります。

Title : ソプラノ歌手

Size[mm] : 390(h)×550(w)

Medium : 画用紙、ボスカ



西川 泰弘

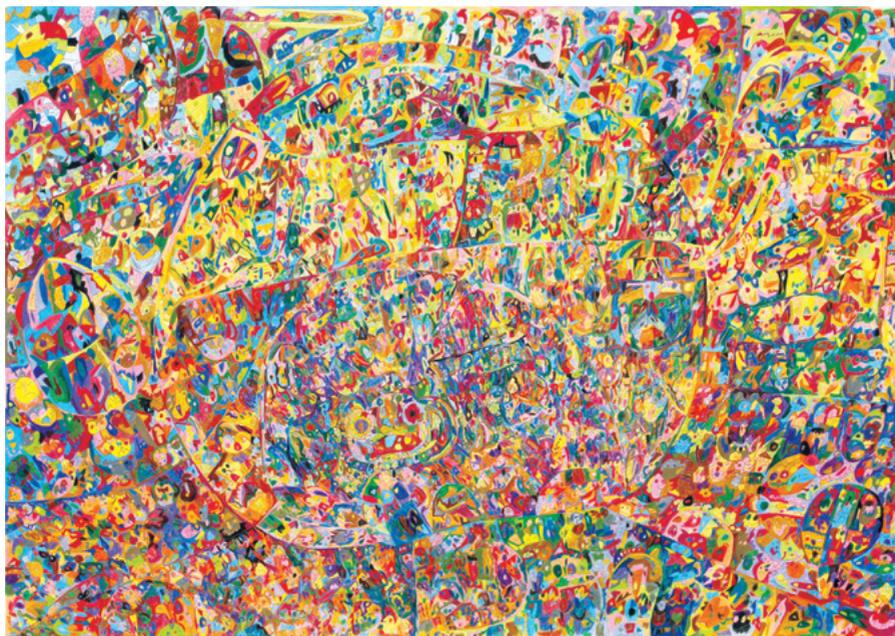
にしかわやすひろ

「絵画活動は僕の人生を最高の人生に変えました。僕は工房集に来て本当に良かったです。」と語る西川さん。今までの辛い経験をはねのけるくらい絵を描くことで前向きになれ、励みになり、周りに感謝し、生きている。

Title : 花

Size[mm] : 920(h)×920(w)

Medium : ペニヤ、絵具、ボスカ



納田 裕加

のうだゆか

面白いこと、周囲を笑わせることが大好きで、いつもみんなを楽しませてくれる納田さん。織りや絵画、刺繍にオブジェと、常にあらゆる方法で自分を表現していて、みんなを驚かせたいという気持ちが、納田さんの作品にも表れている。絵画の活動を始めたのは7年前。他の仲間が絵画でどんどん評価されている姿を見て、「私もやってみたい!」と始めた。周りの仲間の影響から始めた活動も、始めてみれば納田さんらしさ満載の作品となってしまう。

Title : マンガボンボン

Size[mm] : 770(h)×1080(w)

Medium : 紙, ボールペン、色鉛筆



野口 敏久

のぐちとしひさ

「えへへ」「イッヒヒ」実に楽しそうに、面白くて仕方がないと言わんばかりの笑い声が聴こえてくる。背中を丸めて、1つ1つゆっくりと「てんてん」を落としていく。1つのところにじ〜っとポスカを溜めて、次は作品ごと持ち上げてインクを垂らして、模様を創り出す。てんてんと線のハーモニーが、綺麗であり飛び出してきそうな錯覚に陥る。幸せそうな彼を見ていると、こちらまで「えへへ」と笑いたくなる。

Title : てんてん

Size[mm] : 460(h)×530(w)

Medium : キャンバス、ポスカ



能崎 由貴子

のざきゆきこ

毎日、パンラックでパン作り、洗濯をしすかに一生懸命やっています。週一回お店当番もやり、パンラック内で働きます。猫が大好きです。絵画教室ではおとなしい由貴子さんが力強く大胆な構図で描き始めます。毎回いい絵が出来上がります。本当はもっともっと力があるのだろうと感じています。

Title : シクラメン

Size[mm] : 407(h)×328(w)

Medium : 紙、アクリル



野田 勇人

のだはやと

礼儀正しくいつでも気持ちのいい挨拶をくれる野田さん。趣味は愛犬・マロンくんと散歩です。今年の9月「もっと描きたいです。」という本人の想いから週に1度アートの時間をとると、次々と作品が誕生しました。モチーフは雑誌のモデルや画家ですが、仕上がった作品にはどれも本人の独特なタッチが表れます。共に作業をする仕事仲間2人組がモデルとなり描かれた作品は地元の広報誌にも掲載されました。

Title : ポニーさん

Size[mm] : 300(h)×200(w)

Medium : 紙、ペン



野村 真優子

のむらまゆこ

作品は、紐の端と端を何度も繰り返し結んでいったもの。彼女は洋服の紐、ビニール袋、パンダナなど、結べるものは何でも結ぶ。紐を見つけるとこの作品を作り始める。しかし、スタッフが紐を用意するようになると、やらなくなってしまった。紙をちぎって積み上げたり、ボタンを色別に並べたり、不思議で美しい彼女の行動。しかし、作って欲しいというこちらの意図が見えると、興味を失ってしまう。だからこの作品はもう見られない。

Title : 無題

Size[mm] : 30~100(w)1作品

Medium : ロープ、布、ビニール紐、他



野本 竜士

のもとりゅうじ

はっきりとした色が好き。可愛いものが好きで、皆といることが大好きな彼。「楽しい!」「嬉しい!」を誰よりも感じる事が出来る。だからこそ、生まれたこの作品。長い間和紙の仕上げの工程に取り組んできた彼。カラフルなホットボンドの色を使った凹凸のある不思議な作品の数々。すごいと感じずにはいられないが、一体何なの?!と思わず笑ってしまう。見ている私達も「楽しい!」のだ。

Title : Untitled

Size[mm] : 320(h)×260(w)×360(d)

Medium : ホットボンド



白田 直紀

はくたなおき

画像を見ながら描くが決してそのものではない。細かいペン先を何回も往復させ、独特な色彩を出す。今はとにかく花を好んで描いている。愛らしくもあり、それでいて不気味さもある彼の世界がある。

Title : 花

Size[mm] : 272(h)×383(w)

Medium : 画用紙、ボールペン



原口 めぐみ

はらくちめぐみ

2008年頃から作品を描き始めました。猫が大好きで、作品にはいつも猫が登場します。表情豊かな猫たちと、色鮮やかな背景によって、時に可愛く、時に恐ろしくも見える、独自の世界を描きます。普段は絵を描くほかに、カフェで仕事をしたり、歌ったり踊ったりするのも大好きです。休日には一人で自転車に乗って隣町まで出かけたりもします。

Title : 無題

Size[mm] : 270(h)×390(w)

Medium : 画用紙、デコペン、クレパス



東野 将大

ひがしのしょうた

言葉を持たないけれど、とってもおしゃべりな東野さん、自分の見たもの、感じたことをまわりの人に伝えたくて、何度も何度も伝えるけれど…うまく伝わらない時もある…そんな中ではじめたのがコラージュ制作です。コラージュ制作を通して、私たちは、東野さんの世界を共有させてもらえます。そして、東野さんとの心の距離も縮まってきたように思います。作品を見て、東野さんが何を好きなのかが、そしてとてもかわいらしい人だということが伝わってきます。

Title : 無題

Size[mm] : 255(h)×365(w)

Medium : 紙



平田 佳宏

ひらたよしひろ

年齢：五十？歳

性格：がんな職人氣質。でも実は優しく、根はひょうきんものなんです。若者の多いほとふ館ではみんなの兄貴分です。

趣味：カラオケ おしゃべり

アートについて一言：ていねいに黙々と独特の世界を描きます。

「なんとなく始めたけど最近ちょっとハマってきたところかな？」

Title：川の流れ

Size[mm]：390(h)×420(w)

Medium：画用紙、クレヨン、ポスターカラー、セロテープ



福島 香織

ふくしまかおり

「え」を描くことが大好きな香織さん。マジックを使ってカラフルに描いている。四角い紙、三角の紙、丸い紙。紙の形が変わると「え」の数や形・色合いも変わる。同じように見えるけれど、毎回ちょっと違う作品が完成する。日々の生活の中で、気になることがたくさん。気持ちが揺れてしまう事もあるけれど、描くことが大好き。ニコニコ集中して画用紙に向かっている。

Title : え

Size[mm] : 365(h)×535(w)

Medium : 紙、ペン



福島 尚

ふくしまひさし

昭和44年生まれ。知的障がい者（自閉症）で幼少期から、鉄道に強い興味をもち列車や信号機、踏切り等鉄道に関する絵を描くようになった。それが進展して現在は、地元をはじめ各地の鉄道を独自の手法でアクリル画や水彩画にして描く他に、ペーパークラフトや乗車券、入場券のレプリカを作る等、創作活動の範囲を広げている。

Title : 夕暮れのEF63

Size[mm] : 1220(h)×1720(w)

Medium : キャンバス、アクリル



ベイベーズ・ブレス

べいびーず・ぶれす

今年の2月に絵、仲間、そして大切な人に出会いました。みんなの絵を沢山描いていく中で、笑顔は心を変えてくれる事に気がきました。絵の楽しい所は、その時の感情で絵の空気が変わるところと見たみんなが笑ってくれるところです。みんなに出会い絵を通して、無くした笑顔を取り戻せました。これからも、沢山絵を描いて成長していきます。

Title : 笑い

Size[mm] : B5の1/2

Medium : コピー用紙、色鉛筆



前田 貴

まえだたかし

前田さんは明るい人で、仲間とよくおしゃべりを楽しんでいます。絵のモチーフは旅行などのパンフレットから好きな写真を幾つか選んでそれを前田さんの頭の中でパズルのように組み合わせて描き始めます。出来上がった絵もパズルのようなイメージです。

Title : ホテル
Size[mm] : 910(h)×910(w)
Medium : パネル、クレヨン



前田 聡男

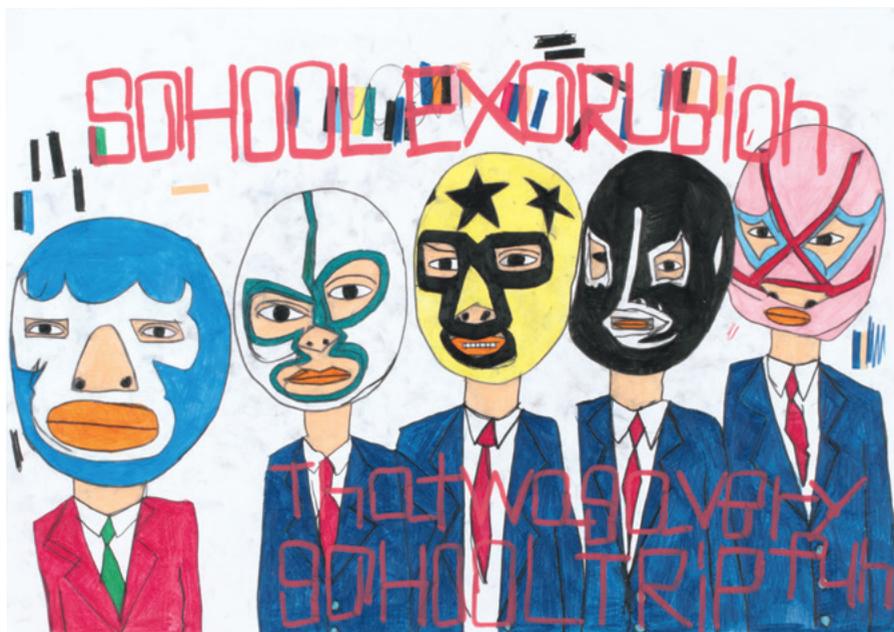
まえだとしお

2011年10月から熊谷の「ゆりがご」に通所しながら活動している前田さんは、少し照れ屋で恥ずかしがり屋さんですが、ゆりがごに来てから4年以上、自分の世界に入りながら黙々と絵を描いています。前田さんのもっている独特な世界から生み出される作品の数々からは、新鮮な驚きと、新しい発見と、そしてドキドキするような感動が溢れ出しています。前田さんの作品ができる度にゆりがごでは、「へーえー」 「ほほオオー？」と不思議な歓声が湧きあがっています。唯一無二の前田ワールド!!是非とも一緒にはまってみませんか？

Title : 無題

Size[mm] : 260(h)×180(w)

Medium : 紙、ペン



マスクラ・コントラ・マスクラ

ますから・こんとら・ますから

どこかとぼけた表情の覆面レスラーの絵を描くのはケンジ氏、独特なカタチの文字を描くのはカズヒサ氏。スタッフがそれらを組み合わせ、ひとつの作品となります。2人の作風でなくては醸し出せないテイストです。作品はTシャツや文具等のグッズにもなり販売されています。

Title : 覆面とロックンロール

Size[mm] : 382(h)×542(w)

Medium : 画用紙、色鉛筆



真由美

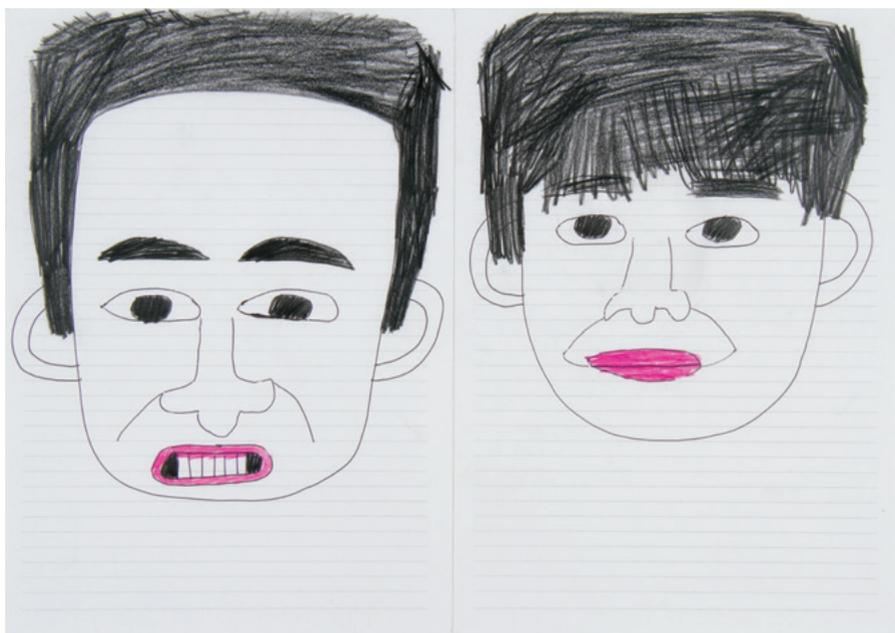
まゆみ

花やかわいいものが好きで笑顔が素敵で気持ちに素直な女性です。制作時はマットの上に横になり作業をしています。以前はアクリル絵具で描いていましたが、今は色鉛筆や水彩絵具を使って描くようになりました。現在、布や古着にステンシルで花柄の模様を入れてリメイク作品にも挑戦しています。今回出展している作品の一つには長年ステンシル作業で布の下に敷いて作業台として使っていたキャンバスで偶然生まれていたものもありました。

Title : 春の花

Size[mm] : 380(h)×455(w)

Medium : キャンバス、アクリル



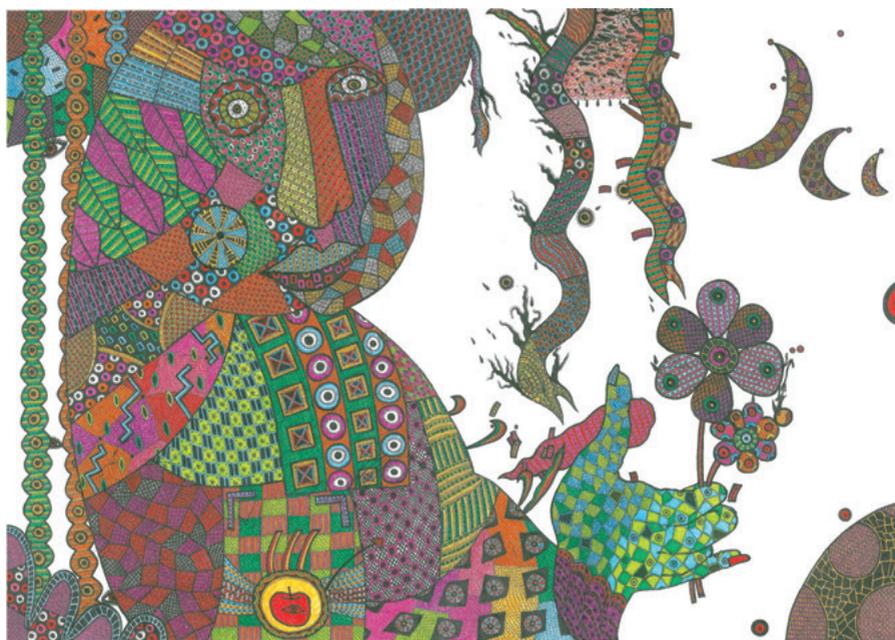
三浦 元史

みうらもとふみ

三浦元史さん25歳。朗真堂ではお米袋の底紙を貼る内職の中心メンバーとして毎日頑張っています。朗真堂に入所して約2年8ヶ月、無遅刻無欠勤を継続中です！恥ずかしがりやで言葉は少ないですが、昼休みなどメンバーの話の輪に加わり、とても楽しそうにしています。朗真堂の人気者です！朗真堂では、事業の一つとしてラインスタンプのデザインをしています、そのデザインメンバーから刺激を受けたようです。今回展示させて頂いた作品は、その刺激を受けて描き溜めていたものの一部です。事業所みんなが喜ぶと思って描いたとのことで、描いた人を当ててもらうことがとても楽しみのようです。今回は、三浦さんのサービス精神も大いに盛り込まれた作品となっています。

Title : テツandトモ Size[mm] : 180(h)×250(w)

Medium : 紙、色鉛筆



宮原 裕美

みやはらゆみ

一見して圧倒されるその絵は、ボールペンで描かれており、気の遠くなるばかりの細かな模様の組み合わせで構成されています。真っ白な紙にペン先が触れる瞬間、彼女が見ていること、感じていること、想っていること…すべてのイメージが複雑に絡み合いあるいは、零れ落ちるようにひろがっていきます。

異次元で不思議な物のようでもあり、ユニークでポップなものでもあり、また最近では花をモチーフにしながら似顔絵を描くなど繊細で大胆で明るく楽しい魅力的な作家です。

Title : 砂奈江婦人

Size[mm] : 380(h)×540(w)

Medium : 紙、ペン



三好 進

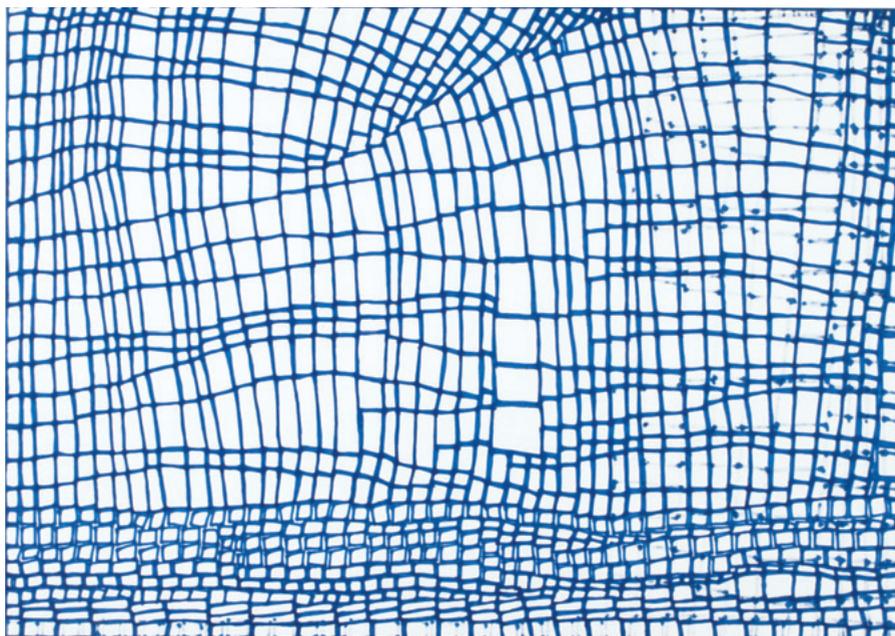
みよしすすむ

ミルクパックやクレヨンを使い、色を楽しむ三好さん。パックの注ぎ口からハサミをジョキジョキと気持ちよく切り進め、細く端切れになったものを山のように立体的な形にして『楽しい気持ち』を表しています。また、表現活動として取り組む絵画では、穏やかな表情でクレヨンを指先でつぶし、画用紙の隅々まで丁寧に塗り重ねていきます。描かれる図柄は、構成や配色が次々と変化し、「キラキラひかる」かき氷であったり「ピチャピチャはねる」水遊びであったりと、言葉にならない言葉を絵で表現しているようです。

Title : 花

Size[mm] : 297(h)×210(w)

Medium : 紙、クレヨン



森川 里緒奈

もりかわりおな

ふわっとした雰囲気のある彼女ですが、時折スパイスの効いたことを言います。モチーフは電車とのことですが、なんとも不思議な模様になっています。スタッフとお話を楽しみながら毎日描いています。

Title : 電車 (東武東上線)
Size[mm] : 382(h)×542(w)
Medium : 画用紙、マーカー



八島 遼

やしまりよう

絵を描いている八島さんの画像を見る目は真剣そのもの。集中して黙々と入り込んで描いている。そおっと後ろから作品をのぞいてみると思わず吹き出ししてしまう様な愛くるしさとのぼのとした表情の人物が描かれている。このギャップが八島さんの作品の面白さでもある。これまで描いた作品は、歌舞伎、舞子、プロレスラー、ヘビメタバンドなど。描き始めてから、まだ半年。これからどう変化していくのだろうか。楽しみである。

Title : 八島シリーズ

Size[mm] : 140(h)×100(w)

Medium : 紙、ボールペン



安田 英明

やすだひであき

彼には、彼にしか見えない見え方があります。頭の中で繰り広げられる様々な物と物とのコラボレーションがコラージュという作品の中で次々に表現されていきます。彼の精神世界を表現する物、それが創作活動という行為なのです。普段の安田さんは、「キャプテン」というあだ名が指し示すように、困っている人がいたら、自分の事より先に手をだしてしまう心優しい青年です。

Title : 無題

Size[mm] : 413(h)×605(w)

Medium : 紙



箭内 裕樹

やないゆうき

作業室に流れている音楽を聴きながら「ふ、ふふ」と鼻歌をうたいながら実に楽しそうに描いている。時には周りを気にせず一心不乱にペンを走らせている。太さが違うボールペンを使い分け、四角の箱を幾つも描いていく。そして、その箱の中にハートやマル、自分の似顔絵を描き込んでいき、最後に上下、斜めと力強く自分の気持ちを思いっきりぶつけるかのように塗りつぶしていく。最近の作品は、たくさんの顔が散りばめられ、周りにいる仲間たちを描いているよう。やわらかい筆圧の可愛い絵になっている。その絵をじっと目を凝らして見つめていると何か浮き出てくるようなそんな気がする。

Title : Untitled

Size[mm] : 530(h)×650(w)

Medium : キャンバス、ボールペン



ヤマダジュンヤ

やまだじゅんや

「ひげメガネおやし」のモチーフは、いつでも彼の発想の源だ。アプローチの仕方を変えながら描き続けるうちに、「やり過ぎ感」に苛まれることもある。そうして、とりあえずやってみた時の偶発的な表現、その新鮮な感覚に思いを馳せる。「一周回ってお帰りなさいだね！」と周囲に揶揄されながらも、そこに回帰するまでの彼の果敢な挑戦は「やっぱりこれがいい、これでいい！」と納得できるまでの、こころの旅路でもあるのだ。

Title : 雑誌に載ってた人

Size[mm] : 420(h)×297(w)

Medium : 紙、油性ペン、カッティングシート



ユキウサギ

ゆきうさぎ

震災に対するお祈りの気持ちを込めて描きました。普段は、お散歩をしながら、空を見たり、雑草を見ながら、きれいだなあとか、絵にしてみたいなあとか、考えています。やさしい感じのものが好きです。お料理が好きで、お月見にはアイスの実でお供えを作ってみました。

Title : <シリーズ祈り>空也

Size[mm] : B2

Medium : 和紙、日本画材



横井 雅美

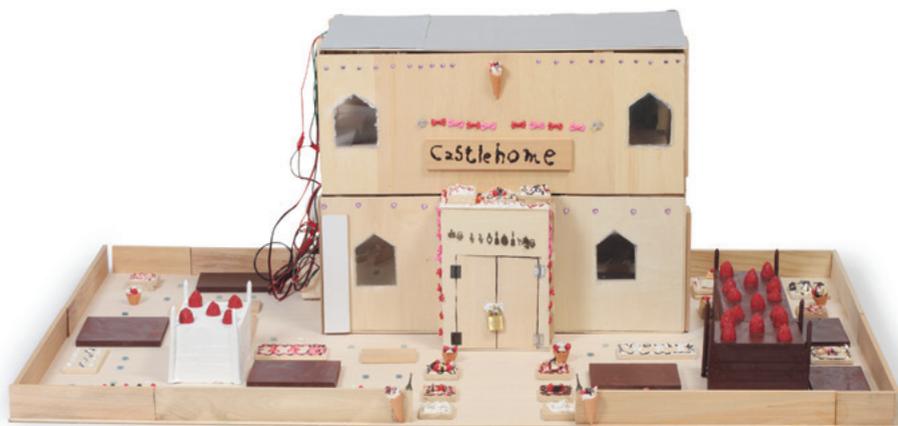
よこいまさみ

4ヶ月の間に、18体の首像を完成させた。彫刻家を目指していた頃の経験を活かしてみたかった。時には苦悩の色も滲ませながら、自分が愛し、尊敬する人物を刻み起こしてゆく姿からは「真面目一徹」といった印象も受ける。その一方で、少年のように瑞々しい感性のうかがえる作風も、実は持ち合わせているのだ。小さな手帳にひっそりと描きためられているユーモラスな「地球外生物」たち。そういった一面にも、いつかスポットを当ててみたい。

Title : 首像～自分・友人、私の好きな著名人～

Size[mm] : 100(h)×70(w)×70(d)×3

Medium : 石膏



横山 涼

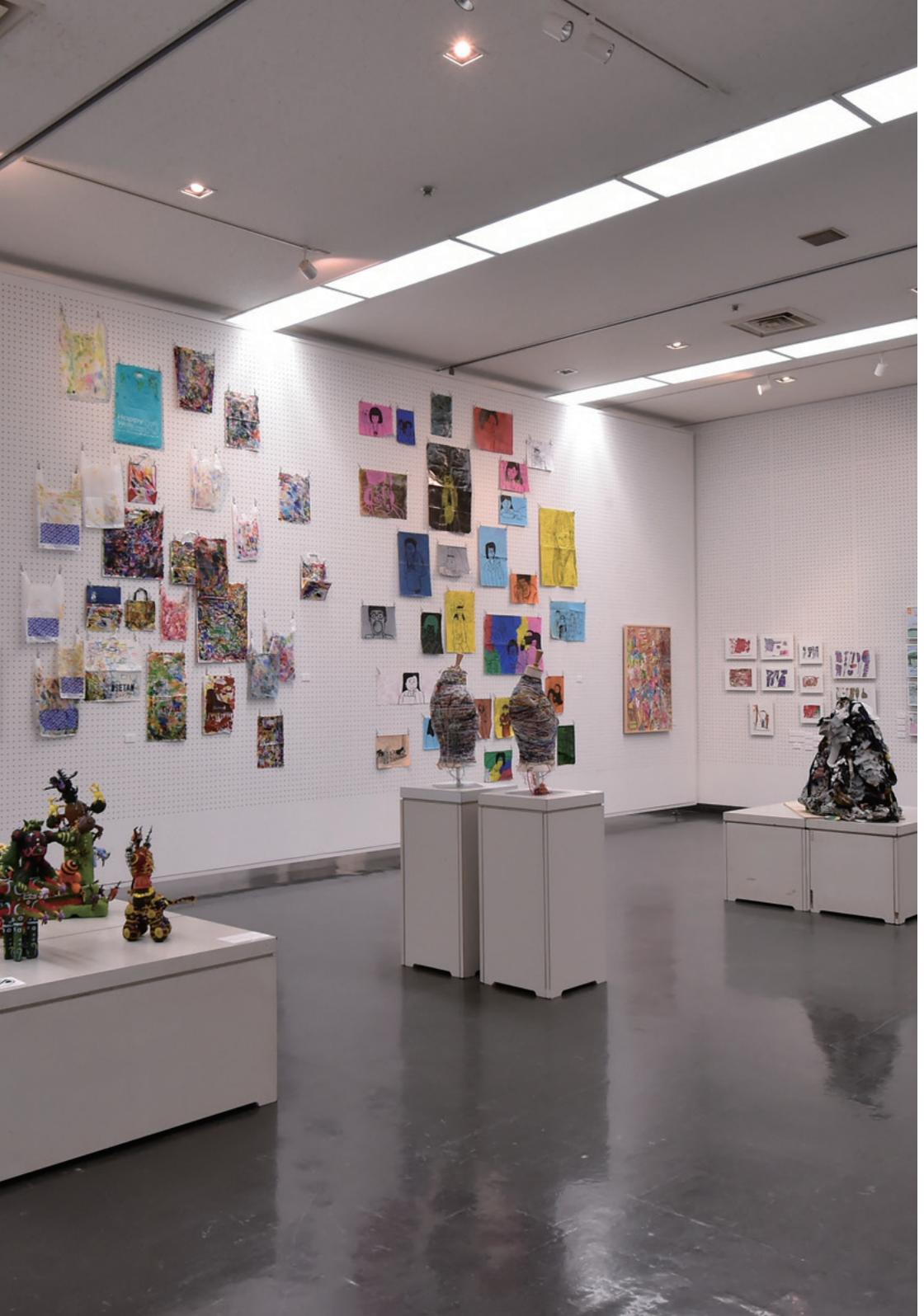
よこやまりょう

鉄板や釘、髑髏マークというような毒々しいボックス（木の箱）の作品。そして、彼が創造する飛行機の作品作りへと展開していく。約60機を創り上げた。現在はホームシリーズといって、ミニチュアの家を作り、家具からテレビ、噴水、甘いお菓子などなど彼が思いついたものがたくさん散りばめてある作品を制作中。毒々しい作品から、ユーモアある作品へと変化している。作品を見つめる眼差しは優しく、時に微笑みながら組み立てていく。男として、人として…豊かになった彼の想いが形となって堂々と存在する。

Title : キャッスルホーム

Size[mm] : 800(h)×1510(w)×930(d)

Medium : ベニヤ、南京錠、ペンキ、電球



展示協力施設

(医) 双里会 多機能型事業所わっくす
(一社) tokotoko発達支援センター tokotoko桜
(一社) 朗真堂
(社福) ウイング ワーク&ライクのびっこ
(社福) 川の郷福祉会 おれんじ
(社福) 啓和会
(社福) ささの会 多機能型事業所ほとふ館
(社福) 昴 デイセンターウィズ
(社福) 戸田わかくさ会
(社福) 新座市障害者を守る会
(社福) 皆成会 光の園
(社福) 皆の郷 川越いもの子作業所
(社福) みぬま福祉会
(社福) 埼玉医療福祉会 光の家療育センター
NPO法人CILひこうせん
NPO法人あすなる会
NPO法人織の音アート・福祉協会 織の音工房
NPO法人なまずの里福祉会
NPO法人ハーモニー
NPO法人ホームベースさいか上尾
NPO法人松ぼっくりの会
NPO法人ゆめたまご
NPO法人ゆりかご
NPO法人ラッコの会 パンラッコ
川口市心身障害福祉センターわかゆり学園
国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 秩父学園
埼玉県社会福祉事業団あげお
埼玉県立上尾特別支援学校
ふじ支援センター



あ

- 阿部香織 あべかおり …………… 9
 新井貴道 あらいたかみち …………… 10
 石井章 いしいあきら …………… 11
 石井陸渡 いしいりくと …………… 12
 今村明義 いまむらあきよし …………… 13
 卯月寛 うづきひろし …………… 14
 梅澤勝典 うめざわまさのり …………… 15
 EMI えみ…………… 16
 大串憲嗣 おおくしけんじ …………… 17
 大倉史子 おおくらふみこ …………… 18
 尾ヶ井保秋 おがいやすあき …………… 19
 荻原徹 おぎわらとおる …………… 20
 Over おーばー…………… 21
 小幡海知生 おばたまちお …………… 22

か

- 風間博 かざまひろし …………… 23
 加藤朋大 かとうともひろ …………… 24
 金谷ゆり かなやゆり …………… 25
 川田修 かわたおさむ …………… 26
 神田泰宏 かんたやすひろ …………… 27
 熊倉美優 くまくらみゆ …………… 28
 栗原和秀 くりはらかすひで …………… 29
 黒川文字 くろかわふみこ …………… 30
 後藤友康 ごとうともやす …………… 31
 小林カオル こばやしかおる …………… 32
 小林春介 こばやししゅんすけ …………… 33
 小林ちゃん こばやしちゃん …………… 34

さ

- 齋藤進 さいとうすすむ …………… 35
 斉藤勇真 さいとうゆうま …………… 36
 佐々木慎一 ささきしんいち …………… 37
 佐々木孝志 ささきたかし …………… 38
 佐藤こはる さとうこはる …………… 39
 さとちゃん …………… 40
 椎橋豊 しいばしゆたか …………… 41
 柴可南子 しばかなこ …………… 42
 柴田和 しばたやまと …………… 43
 嶋田怜真 しまだりようま …………… 44
 シュウシュウ …………… 45
 杉山良介 すぎやまりようすけ …………… 46
 すずきしょうた …………… 47
 須田法子 すだのりこ …………… 48
 関口広史 せきぐちひろし …………… 49
 曽我部竜弥 そがべりゅうや …………… 50

た

- 高橋創 たかはしはじめ …………… 51
 高橋裕子 たかはしゆうこ …………… 52
 高谷こすえ たかやくすえ …………… 53
 武石トシ子 たけいしとしこ …………… 54
 田中貴之 たなかたかゆき …………… 55
 田中悠紀 たなかゆき …………… 56
 都築敬昌 つづきひろまさ …………… 57
 鳥羽直弥 とばなおや …………… 58

な

- 内藤みひ ないとうみひ …………… 59
なお丸 なおまる …………… 60
永井健雄 ながいたけお …………… 61
西川泰弘 にしかわやすひろ …………… 62
納田裕加 のうだゆか …………… 63
野口敏久 のぐちとしひさ …………… 64
能崎由貴子 のぎきゆきこ …………… 65
野田勇人 のだはたと …………… 66
野村真優子 のむらまゆこ …………… 67
野本竜士 のもとりゅうじ …………… 68

は

- 白田直紀 はくたなおき …………… 69
原口めぐみ はらくちめぐみ …………… 70
東野将大 ひがしのしょうた …………… 71
平田佳宏 ひらたよしひろ …………… 72
福島香織 ふくしまかおり …………… 73
福島尚 ふくしまひさし …………… 74
ベイビーズ・プレス …………… 75

ま

- 前田貴 まえだたかし …………… 76
前田聡男 まえだとしお …………… 77
マスカラ・コントラ・マスカラ …………… 78
真由美 まゆみ …………… 79
三浦元史 みうらもとふみ …………… 80
宮原裕美 みやはらゆみ …………… 81
三好進 みよしすすむ …………… 82
森川里緒奈 もりかわりおな …………… 83

や

- 八島遼 やしまりょう …………… 84
安田英明 やすだひであき …………… 85
箭内裕樹 やないゆうき …………… 86
山内功次 やまうちこうじ …………… 87
ヤマダジュンヤ …………… 88
ユキウサギ …………… 89
横井雅美 よこいまさみ …………… 90
横山涼 よこやまりょう …………… 91



第七回埼玉県障害者アート企画展 作品集

撮影

今井 紀彰 (作品)

編集・発行

埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会
330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目15番1号
事務局：埼玉県福祉部障害者福祉推進課
電話：048-830-3312

発行日

2017年2月1日

©2017 埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会



